



Digitized by srujanika@gmail.com

【兩漢以降家傳三編】

卷之六

いお皇軍の温い手で延びて居り、つしてそれに日本の技術と物資が流れて行けばこの天恵の地の将来性は洋々たるものであらう。

こゝで一寸つけ加へたい田園風景は竹の水車である。灌溉用の水車だが竹が豊富なため木製ではなく竹製となつたもので大きいのは直徑七、八間もあり偉觀である。

稻作のほかには落花生、甘藷、甘シヤ（現在の品種は餘りよくなじ）竹、椰子などの栽培を見、このほかゴム、コ

この地方で赤匪(共産匪)を恐れることは想像の外でいく  
ら精出して作つても赤匪に掠奪されるからと云つた心持が  
長く續き一つの田にしても三種ぐらゐに分けて故意に不作  
栽培をやり自分達の腹を満たす程度に止め、赤匪が來ても御覧の通りの不作ですから何卒御勘辨をと云ふ言釋にしてゐるズボラ式である、しかし

言ふまでも、島田からおおへて  
數へあげる農業不成立の個條  
先づ第一に赤匪の害、その  
次に税金が高過ぎること、  
第三に役人が賄賂をとり過  
ぎること等大凡そ我々には  
栽培と直接原因でないやう  
なものを見數へあげ、漸く第  
四番目位になつて技術が下  
手とか災害が續くとかを持  
出してきてゐる。

# 農業から見た 海南島(下)

A square seal impression featuring stylized characters, possibly representing a library or collector's mark.

キナ、麻類、香水の将来性を  
考へられ牧畜の方面では牛、  
水牛、鶏の多いところから皮  
革耶肉の輸出も期待されてゐ  
る。

# 内の御用命は

## 牛も豚も優良品の自慢

（徒弟入用） 手 塚 美 客  
何卒御用命の程を  
パ・マ・キンド・ウエーブ  
和洋結髪

内科、小兒科  
大森醫院  
醫學士 大森 勇  
平市南町 電二五八番  
應需

大小の御宴會にホール  
御家族の御同伴に御座敷  
いつも材料を吟味して居ります

This is a vertical decorative panel, likely a book cover or endpaper, featuring intricate black and white patterns. At the top, there are stylized characters '奇' (Qi) on the left and '花' (Hua) on the right, each enclosed in a decorative cloud-like frame. Below these, the central part of the panel features a large, circular, sun-like motif with radiating lines and a textured, possibly woven or embossed, background. A large, ornate floral element with many petals and a central circular pattern is positioned at the bottom. The entire panel is framed by a thick, decorative border.

平市元共濟病院跡（電話六四一一番）  
院主 鈴木定藏  
院長 醫學博士 鈴木定藏  
小兒科院長 鈴木定藏  
内科 一般外  
皮膚泌尿器科  
レントゲン科  
物理的療法科  
副院長 高橋俊幸  
院長 鈴木定藏  
藥劑科部長 吉本孝平  
時間 診療 每日午前八時より午後九時まで  
限りにあらず（急患は此の